



古代狭山池と 台地開発のはじまり

平成23年度 特別展

2011年10月8日 **土** ▶ 12月4日 **日**

□主催 大阪府立狭山池博物館／大阪狭山市立郷土資料館

□後援 大阪府教育委員会／南海電気鉄道株式会社／大阪府都市開発株式会社



治水灌漑の土木遺産を継承する

大阪府立 **狭山池博物館**

OSAKA PREF. SAYAMAIKE MUSEUM

●開館時間／午前10時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
●休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
●入場料／無料

古代狭山池と 台地開発の はじまり

狭山池博物館は、世界に誇れる土木遺産の狭山池を地域アイデンティティ創造の拠点として活用することを活動目標の一つにかかっています。

狭山池の下流域にひろがる南河内台地は、7世紀に狭山池が誕生して以来、狭山池から水をうける多数のため池と地形をたくみに利用して開かれた水路網が発達しています。このような「ため池灌漑水利網」は、人間の体にたとえると、狭山池は「心臓」、水路は「血管」、そして水は「血」となり、地域社会や文化の形成に大きな役割をはたしてきたと言えるでしょう。

博物館は今年で開館10年を迎えました。そこで今年から、地域への愛着と理解をさらに深めていただくために、狭山池下流域の土地開発史をテーマとする特別展を始めることにしました。平成23年度の特別展はその第1弾です。狭山池の築造にはじまる古代の台地開発の歩みをふり返り、人・水・大地の織りなす狭山池の歴史に想いをはせていただきたいと思います。



1



2



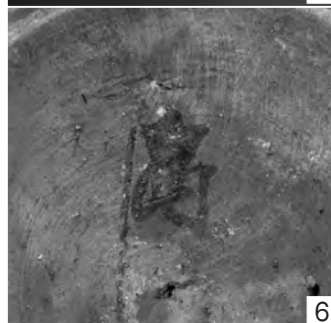
3



4



5



6

- 1 奈良時代の遺物群像
／8世紀／河原城遺跡
- 2 古代寺院を飾る軒丸瓦
／8世紀／黒山廃寺
- 3 鑄造工房から見つかった送風管の先端(羽口)／8世紀／太井遺跡
- 4 地金を溶かす耐火物容器(坩堝)／8世紀／太井遺跡
- 5 底に「鳥」と墨書した椀
／10・11世紀／観音寺遺跡
- 6 5の墨書「鳥」

紹介する主な遺跡とそのポイント

展示品は、集落の年代や性格を物語る須恵器、土師器、黒色土器、瓦、硯、鑄造・鍛冶関連資料などです。

平尾遺跡／堺市美原区=7世紀の開発拠点、丹比郡衙の候補地

太井遺跡／堺市美原区=平城京の工房と共通する鑄造技術

真福寺遺跡／堺市美原区=飛鳥時代と平安時代前期の開発拠点

郡戸遺跡／羽曳野市=飛鳥時代と平安時代前期の開発拠点

河原城遺跡／堺市美原区・羽曳野市=開発を支えた鍛冶工房

丹上遺跡／堺市美原区=古代官道沿いに出現した奈良時代の開発拠点

観音寺遺跡／松原市=古代開発史の画期、平安時代後期の開発拠点

東野廃寺／大阪狭山市=飛鳥時代創建の古代寺院

■歴史講演会

10月22日(土) 午後2時から午後4時

□講師／小山田 宏一(本館学芸員)
「狭山池と池溝開発の時代」

■開館10周年記念特別鼎談「提唱、狭山池学」

11月12日(土) 午後1時30分から午後4時

□講師／森 浩一(同志社大学名誉教授)
金盛 弥(元大阪府副知事)
□司会／工楽 善通(本館館長)

会場／大阪府立狭山池博物館ホール ＊講演会・鼎談いずれも、先着順・定員126名、午後1時から受付

◆本館学芸員による展示解説

特別展示室・毎週土曜日午前11時から30分程度



治水灌漑の土木遺産を継承する
大阪府立 **狭山池博物館**

OSAKA PREF. SAYAMAIKE MUSEUM

○所在地=〒589-0007 大阪府大阪狭山市池尻中2丁目 ○電話番号=072-367-8891 ○FAX番号=072-367-8892

○ホームページ=http://www.sayamaikehaku.osakasayama.osaka.jp/

○交通=南海電鉄「なんば」駅から高野線「大阪狭山市」駅下車、西へ約700m。

敷地内には大型バス、車椅子利用者用の駐車場があります。一般の車両は約500m西にある狭山池の北堤駐車場を利用してください。

○狭山池博物館は、大阪府、大阪狭山市、狭山池まつり実行委員会が協働して運営しています。

